

明治安田こころの健康財団 子ども療育相談センター第4回実践報告会

自閉症スペクトラムの特徴と個々のニーズに応じた療育実践

—診断から療育へ、乳幼児期から学齢そして成人へ—

期 日：2020年3月8日（日）

受講対象：自閉症スペクトラム児への療育支援に携わっている方や興味のある方

定 員：60名（定員になり次第締切りますのでホームページ等でご確認ください）

受講料：3,500円（税込み） ※昼食は各自おとりください

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場：明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付します

東京都豊島区高田3-19-10

（JR山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分）



自閉症スペクトラムの特徴のある学齢期の子どもに対する特別支援教育の浸透と、乳幼児期の子どもに対する児童発達支援のサービスの拡充が図られてきています。その結果、幼児期の子どもを持つ家族には、自分の子どもに必要な療育支援サービスを選ぶことが可能になりました。このことは、自分の子どもに合わなければ新しいサービスへと契約を変えていけるということにもなります。特別支援教育も特別支援学校から特別支援学級、通級指導教室、特別支援教室など少しずつ選択の幅の広がりが見られてきています。

このような状況の中では、どのような療育支援が自閉症スペクトラムの特徴のある子どもに対して有効なものなのかを個人が判断していく必要が生じます。本来診断は、必要なサービスを特定するためにあるものです。自閉症スペクトラムという診断がある以上、その特徴のどのようなものを磨くことで社会での活躍が期待できるのか？また、社会から受け入れられにくくしてしまう特徴はどのようなものなのか？を明確にし、子どもの進む道を判断していく必要が専門家に期待されます。発達に何らかの課題を持つ子どもを育てることの負担が大きすぎて、生活がたちいかなくなることは避けなければなりませんし、家族を支えるサービスは増加してきました。しかし、子どもがこれから社会で生きていくために必要な内容を地道に構築していく療育支援の必要性は、日増しに高まっているように感じます。

今回の報告会では、自閉症スペクトラムの特徴のある子どもをどのように見立て、これからの社会生活を有効なものへと導く療育支援の内容について報告します。自閉症スペクトラムの特徴のある子どもへの療育支援について興味のある方の参加を希望します。

《子ども療育相談センター》

【プログラム】

日程	時間	テーマ
3月8日 (日)	10:00~11:00	療育に活かす自閉症スペクトラムの特徴の理解と療育内容
	11:10~12:10	実践報告1：幼児期
		昼 食 （各自おとりください）
	13:00~14:00	実践報告2：就学前（年長幼児）
	14:10~15:10	実践報告3：学齢期
	15:20~16:00	これからの自閉症スペクトラム療育

《明治安田こころの健康財団 子ども療育相談センター》

山藤 由紀・田代 結・新井 利明・中嶋 由希子・天野 昌子・薄葉 紗蘭